くにみ議会だより

令和7年
(2025年)
No.208
6月議会号

新たな発想で
国見の教育がスタート!!

村上町長・石幡教育長に聴く!!

くにみ学園構想ではなく（名称も含め）
「認定こども園に軸足を置いて」

村上町長へインタビュー

Q1　「白紙」表明の経緯について

A1

（町　長）凍結…いつかは溶けて元に戻すことができる ⇒ 認識が違う
ーから作り直す考えから「白紙」。

（教育長）町長の考え同様、「白紙」。

Q2　現時点の「新・くにみ学園構想」概要は？

A2

（町　長）ゼロベース（白紙）で考える。

（教育長）町長の公約にもある「認定こども園」を１から検討する。

Q3　統合する施設の考えは？

A3

（町　長）ゼロベースで考える。

（教育長）町長の考え同様、ゼロベースで考える。

くにみ学園構想『白紙』表明

もくじ

P2－3　特集
「くにみ学園構想『白紙』表明」
P4　議会組織構成決まる
P5　一部事務組合報告・人事
P6　質疑答弁
条例改正・一般議案・補正予算
P7　議決の結果
P8　みなさんからの請願・陳情
P9－14　一般質問
～議員６人登壇～
P15　議員活動報告書
P16　議会報告懇談会
P17　常任委員会レポート
P18　私たちの町内会
～泉田上町内会に聞きました～

国見の教育をどうするか！

「スタートラインに立つ」

石幡教育長へインタビュー

Q4　認定こども園と義務教育学校の統合については？

A4

（町　長）公約にもある「認定こども園」を最優先に考え、義務教育学校については、現在の仕組みが良いのか統合した方が良いのかを、ゼロベースで検討する。

（教育長）町長と全く同じ考えである。

Q5　今後の説明会など「ロードマップ」はいつまでに提示できるか？

A5

（町長・教育長）国見町が目指す「保育・教育のビジョン」および「どんな認定こども園にしたいのか」を明確にすることが必要。今年度は、「第６次国見町総合計画」と「国見町教育ビジョン（教育振興計画）」の中間見直しの議論が行われるので、今年度中に基本方針（案）を示したいと考えている。
その後、保護者や地域の皆さまの意見を聞きながら、設置内容や設置場所、運営形態等について議論し、今後の見通しを明確にした上でロードマップを示したいと考えている。

議会組織構成決まる

［総務文教常任委員会］
委員長　佐藤　孝
副委員長　宍戸　武志
委員　佐藤　定男
委員　松浦　常雄
委員　蒲倉　孝
委員　斎藤　樹

［産業建設常任委員会］
委員長　渡辺　勝弘
副委員長　佐藤多真恵
委員　山崎　健吉
委員　小林　聖治
委員　八巻喜治郎

［議会運営委員会］
委員長　小林　聖治
副委員長　松浦　常雄
委員　佐藤　孝
委員　渡辺　勝弘
委員　蒲倉　孝

［議会改革推進会議］
会長　山崎　健吉
副会長　宍戸　武志
会員　全　員

6月定例会を終えて

佐藤　定男

町民の皆様には、町議会に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

6月定例会では、初日の議事日程に議長選挙がありました。私は議長職の辞表を提出せず、引き続き、法に定められた4年間の残りの任期を全うしていく決意をいたしました。その理由は議会最終日に、議長に対する「問責決議」可決のあとに議場で述べたとおりであります。

町民の皆様には、議会内の考え方の違いで不信感を招いてしまい深くお詫び申し上げます。今後はこのようなことのないように、議員間の意思疎通を図り、信頼される議会をつくってまいります。

さて、今回の議会では、今まで4年任期となっていた常任委員会と議会運営委員会、および各一部事務組合議員（公立藤田病院他）の任期を、それぞれ2年とすることとし改選されました。新メンバーで、気持ちも新たに諸課題に取り組んでまいります。

4月に新しく就任された鈴木伴承副町長、石幡良子教育長も初の本会議に臨まれました。

国見町は過疎町指定の中、課題は山積しています。町と議会は「1歩離れて2歩離れず」町政進展と福祉向上のため力を尽くしてまいります。

副議長就任あいさつ

山崎　健吉

町民の皆さんには、日頃より議会活動に対して、ご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて今回の、議長および副議長選挙は2年前の5月に行われた議会改選時に、佐藤定男議長自ら、議会改革の一環として、「6月号の議会だより」に議長・副議長の任期を地方自治法の定めによらず、4年から2年とし、町民の皆さんおよび議員間の申し合わせ事項と覚書も交わし公約しました。

また、各常任委員会の任期を基本的に4年から2年とし、通年議会も3月議会で議決し、6月議会から始動し活性化を図ることを約束いたしました。それを受けての選挙であり、当然、信任されれば再任はあることであります。

しかし、佐藤定男議長は、自らの公約を破り、今回の選挙に出ることなく、議長を続けており、大変残念であります。こうした状況の中、私は、再度、議員の皆さんの信任を頂き、再選することができました。信任を得ない議長と、今後議会運営をやっていかなければならない重責を感じておりますが、町民の皆さんに信頼される、議会運営に努めていくことを改めてお誓いし、就任の挨拶といたします。

［一部事務組合議会］

公立藤田病院組合議会議員
山崎　健吉
松浦　常雄
八巻喜治郎
蒲倉　孝

伊達地方衛生処理組合議会議員
渡辺　勝弘
宍戸　武志

伊達地方消防組合議会議員
小林　聖治
佐藤　孝

福島地方水道用水供給企業団議会議員
山崎　健吉

※一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

伊達地方消防組合議会

3月26日、第2回議会定例会が開催されました。

議案審議では、条例改正1件、令和6年度一般会計補正予算、令和7年度一般会計予算の計3件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

（報告者　小林聖治）

伊達地方衛生処理組合議会

3月27日、第1回議会定例会が開催されました。

条例制定1件、条例の一部改正1件、令和6年度補正予算（一般会計、し尿処理会計、ごみ処理会計）、令和7年度予算（一般会計、し尿処理会計、ごみ処理会計）の8件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

5月12日、第2回議会臨時会が開催され、規約の改正1件について審議され、原案どおり可決されました（工事請負契約の変更1件については議案取り下げ）。

また、6月4日、第3回臨時会においては、工事請負契約の変更1件について審議され、原案のとおり可決されました。

（報告者　渡辺勝弘）

公立藤田病院組合議会

3月27日、第1回議会定例会が開催されました。

一般質問は3件行われ、議案については令和6年度補正予算、令和7年度当初予算等6件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

（報告者　蒲倉　孝）

福島地方水道用水供給企業団議会

5月22日、企業団議会臨時会が開催されました。

報告事項は令和6年度予算より令和7年度予算への繰越し1件についてであり、提出議案は、監査委員の選任であり原案のとおり可決されました。

（報告者　佐藤定男）

人事

監査委員に佐藤徳正氏を再任

監査委員の任期満了により、現代表監査委員の佐藤徳正氏を再任することに同意しました。任期は、令和7年6月24日から令和11年6月23日までとなります。

条例改正

【議案第43号】国見町国民健康保険税条例改正

問（佐藤　孝議員）
4年ぶりに国保財政調整基金を490万円取崩したが、その背景は何か。

大勝ほけん課長　県納付金の増により、税率改正の激変緩和措置として充当した。

問（佐藤　孝議員）
490万円を投入した今改正と、投入しない場合の国保税の違いは。

大勝ほけん課長　490万円を充当しない場合、4人世帯、給与収入400万円のモデルで1万2800円負担が増える。

一般議案

【議案第48号】工事請負契約の変更について

問（佐藤　孝議員）
高圧受電設備容量の設計ミスは通常あり得ないことだが経緯は。

小野生涯学習課長　設計受託業者が電気設備設計に関し協力を求めた業者へ空調稼動台数の伝達を誤ったためである。

問（佐藤　孝議員）
再発防止策の具体化は。

小野生涯学習課長　ふくしま市町村支援機構が行う発注事務支援事業などを活用する。

【議案第49号】動産の取得について

問（渡辺勝弘議員）
町民のために考えた避難所資材であるが、中身は。

榊住民防災課長　パーティション・折りたたみベッド、簡易トイレ、ストーブ、ヒーター、扇風機、冷風機、非常用発電機、蓄電池となっている。

問（渡辺勝弘議員）
避難所資材の中身を選定した理由は。

榊住民防災課長　高齢者や子供、女性に配慮した避難者への環境を整備するため各種資材を購入したいとするもの。

問（渡辺勝弘議員）
新たな資材を購入することによって、保管・管理をどのようにしているのか。

榊住民防災課長　今年度、防災倉庫3基の設置・整備を予定している。

今年度増設予定の防災倉庫
（写真は藤田西防災倉庫）

補正予算

【議案第52号】令和7年度一般会計補正予算（第1号）

問（佐藤　孝議員）
町内会集会所施設補助改正を要望したが、改正はしたのか。

榊住民防災課長　5月1日に改正した。一つは設計費および工事が必要な空調設備を補助対象とした。2点目は、改修等の補助限度額の増額および下限額を引き下げた。3点目は災害修繕を新設した。

問（山崎健吉議員）
保育所施設費の委託料はどのような内容か。

宍戸教育総務課長　子どもたちが何時に来たか、何時に帰ったかを管理する登降園管理システムに不具合が生じたため、タブレット端末を購入し初期設定を行う費用の補正をするもの。

問（蒲倉　孝議員）
道の駅指定管理料451万円補正増の詳細は。

大勝産業振興課長　令和3年または4年の地震で地下の排水施設のひび割れが発生し、漏水が確認された。汚水がたまっている状況で異臭等が発生し、緊急に排水と掃除および消毒が必要となり、修繕工事費を計上したものである。

議 決 の 結 果

議案番号	件　　名	備　　考	結　果
報　告 第３号	繰越明許費の報告について	プレミアム商品券事業ほか　計22事業 翌年度繰越額　4億5997万円	報　　告
報　告 第４号	事故繰越の報告について	藤田北地区擁壁補修工事ほか　計3事業 翌年度繰越額　502万円	報　　告
報　告 第５号	専決処分の報告について	工事請負契約の一部変更（国見小学校体育館空調設備整備工事） 変更前　8349万円 変更後　8487万円 変更理由　仮設計画変更による増額	報　　告
報　告 第６号	町が出資している法人の経営状況について	福島地方土地開発公社の令和6年度の決算及び令和7年度事業計画、予算等の経営状況を報告するもの。	報　　告
報　告 第７号	町が出資している法人の経営状況について	国見まちづくり株式会社の令和6年度の決算及び令和7年度事業計画、予算等の経営状況を報告するもの。	報　　告
承　認 第１号	専決処分の承認について	地方税法等の一部改正に伴う国見町税条例の一部を改正するもの。	承　　認
議　案 第39号	国見町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	人事院規則の一部改正に伴う文言の追加及び改正するもの（妊娠、出産等についての申出をした職員等に対する意向確認等の文言追加その他文言の整理）。	原案可決
議　案 第40号	国見町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	人事院規則の一部改正に伴う文言の追加及び改正するもの（子の年齢に応じた柔軟な働き方を推進するため、育児時間の取得パターンを拡充）。	原案可決
議　案 第41号	国見町債権管理条例の一部を改正する条例	徴収根拠の明確化及び引用条項に係る文言の追加及び整理するもの。	原案可決
議　案 第42号	東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税、国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	福島第一原発事故に伴う避難者の国民健康保険税及び介護保険料について、減免の措置を令和7年度課税分まで延長し、国民健康保険税及び介護保険料の減免項目を追加するもの。	原案可決
議　案 第43号	国見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	国民健康保険法施行令の一部改正による課税限度額及び軽減判定所得の基準額を改正するとともに、国民健康保険税税率の改正を行うもの。	原案可決
議　案 第44号	国見町水道事業の業務に従事する職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例	水道事業の業務に従事する職員の育児休業に係る改正及び国見町職員の給与に関する条例との整合を図る改正をするもの。	原案可決
議　案 第45号	国見町水道条例等の一部を改正する条例	指定工事店の例外規定の追加について、以下の関連条例２件の文言の追加を一括で改正するもの。 ・国見町水道条例の一部を改正する条例 ・国見町下水道条例の一部を改正する条例	原案可決
議　案 第46号	工事請負契約の締結について	令和7年度　町道4号線舗装改良工事 契約金額　4950万円 契約相手方　有限会社村木建設	原案可決
議　案 第47号	工事請負契約の締結について	令和７年度　徳江大橋補修工事 契約金額　1億1550万円 契約相手方　有限会社近久工業	原案可決
議　案 第48号	工事請負契約の変更について	柏葉体育館空調設備整備工事 変更前　1億1825万円 変更後　9462万円 変更理由　空調設備稼働に必要な電気容量確保に係る電気工事見直しによる工事費の減額のため	原案可決
議　案 第49号	動産の取得について	避難所用資機材一式の購入 取得金額　959万円 取得相手方　株式会社山際ホース専門店	原案可決
議　案 第50号	動産の取得について	国見町給食センター食器・食缶洗浄機　一式 取得金額　3850万円 取得相手方　株式会社中西製作所福島営業所	原案可決
議　案 第51号	福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更について	福島県市町村総合事務組合規約の一部の変更（事務組合を組織する地方公共団体の数の減少）	原案可決
議　案 第52号	令和7年度国見町一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出補正前　63億8000万円 歳入歳出補正後　67億8390万円	原案可決
議　案 第53号	令和7年度国見町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出補正前　9億9483万円 歳入歳出補正後　10億14万円	原案可決
同　意 第３号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	【再任】佐藤徳正（さとうとくまさ） 令和7年6月23日任期満了のため	同　　意
発　議 第10号	町長の専決処分についての一部改正について	通年議会実施にあたり、町長の専決処分事項を整理するもの。	原案可決
発　議 第11号	国見町議会会議規則の一部を改正する議会規則	質疑の回数を3回から5回に改めるとともに、一般質問における同一議題に係る質疑回数の制限は設けないとするもの。	原案可決
決　議 第１号	佐藤定男議長に対する問責決議	佐藤議長に対し、町民に公約した議会改革案をすべて実行し、議会の信頼回復を図ることを求めるもの。	原案可決

みなさんからの請願・陳情

請願 1件

●請願第2号
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について

提出者　日本労働組合総連合会　福島県連合会伊達地方連合会
議長　高橋誠一

結果　採択
（産業建設常任委員会にて審議）→意見書案提出・可決
（議会・全会一致）

陳情 5件

●陳情第3号
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情

提出者　福島県教職員組合　中央執行委員長
瀬戸禎子

結果　採択
（総務文教常任委員会にて審議）→意見書案提出・可決
（議会・全会一致）

●陳情第4号
「消費税5％への減税を求める意見書」の提出について

提出者　消費税廃止各界連絡会　事務局
服部　雅

結果　不採択
（総務文教常任委員会にて審議）

●陳情第5号
「インボイス制度廃止を求める意見書」の提出について

提出者　消費税廃止各界連絡会　事務局
服部　雅

結果　不採択
（産業建設常任委員会にて審議）

●〈再審議〉陳情第1号
国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての陳情

提出者　新日本婦人の会伊達支部　支部長
渡辺サツ子

結果　採択
（総務文教常任委員会にて審議）→意見書案提出・可決
（陳情第1号および同第2号は、3月定例会で継続審査としたため再度審議したものです）

●〈再審議〉陳情第2号
国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての陳情

提出者　新日本婦人の会伊達支部　支部長
渡辺サツ子

結果　採択
（総務文教常任委員会にて審議）→意見書案提出・可決

議案審議結果

※下記以外の議案は全員賛成で可決されました。

議案等＼議員名	議決結果	斎藤　樹	佐藤多真恵	佐藤　孝	蒲倉　孝	八巻喜治郎	宍戸　武志	山崎　健吉	小林　聖治	渡辺　勝弘	松浦　常雄
陳情第1号 国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての陳情	採決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成　　●：反対
※議長（佐藤定男）は採決に加わりません。可否同数の場合のみ採決権を行使します。

これ以上の少子化をくい止めるためには

少子化対策について

問 20歳から45歳の町内の未婚の男女は、何人か。

黒田福祉課長 令和7年4月1日現在、男性561人、女性457人である。

問 この5年間で結婚したのは、何組か。

黒田福祉課長 出産届件数は令和2年度から令和6年度の5年間の婚姻届け数は、令和2年度9件、令和3年度14件、令和4年度10件、令和5年度7件、令和6年度13件、合計53件である。

問 結婚する人が少ない要因は何か。

黒田福祉課長 結婚への価値観の変化や女性の社会進出などの要因が複合的に作用しているものと考えられる。

問 この5年間で出生したこどもの数は、何人か。

黒田福祉課長 令和2年度21件、令和3年度25件、令和4年度21件、令和5年度15件、令和6年度23件、合計105件である。

問 結婚を望んでも出会いの機会がない方に対する支援は。

黒田福祉課長 結婚を希望する方の出会いの場を作るために、結婚世話やき人の相談会やイベントの情報発信をし、支援している。また、出産後の心身の休養、育児の支援として産後ケアを行っている。

問 町は少子化対策としてどのようなことを行っているのか。

黒田福祉課長 国は、妊娠された方へ妊婦支援給付金計10万円、町は、出産された方へ5万円を支給している。また、生後2カ月ごろに絵本を贈呈

問 親子関係支援事業とは。

黒田福祉課長 子の発達段階に応じた親の関わり方を学んでもらうため、ペアレントトレーニング事業を実施している。今後、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相談しやすい振り返りの場として教室参加者同士の懇談会を実施するなど事業を拡充していく。

「第3期国見町子ども・子育て支援事業計画」について

問 子育て訪問支援事業とは。

黒田福祉課長 生後1カ月半から2カ月の間に行う赤ちゃん訪問の際に産婦からの相談に応じている。子ども家庭支援員、助産師、保健師が対応しており、新たに支援員を配置することは、考えていない。

問 養育環境に課題を抱えるこどもや学校で居場所のないこどもの居場所となる場の開設予定は。

黒田福祉課長 今後、児童とその家庭にかかる課題や地域におけるニーズ等を把握していく。

子育て支援事業（お誕生会）の様子

人口減少対策・町の経済成長のために企業誘致をより具体的に進めるべき

宍戸武志（ししどたけし） 議員

企業誘致を進めるために

問 県の統計によれば、当町の令和4年度の経済成長率は3・1％のマイナス。これは一過性のものなのか。

佐藤企画調整課長 令和4年度における町内での県発注の公共工事金額が大幅に減少したことによるものであり、一過性である。

問 当町は製造業等の数が少ない。令和2年度の当町1人当たりの分配所得は226万4千円で県下53位。令和4年には過疎指定を受けた。これは中通りの国道4号沿線町村で唯一である。現状を打破するには企業誘致しかないと考えるが。

佐藤企画調整課長 製造業等が増えれば、経済成長率上昇と一人当たり分配所得の改善が見込める。

大勝産業振興課長 企業誘致は、地域経済活性化や人口減少対策に有効な手段であると認識している。

問 具体的な話になると、土地の確保や財源の問題により進展しない。現状において打開策はないのか。

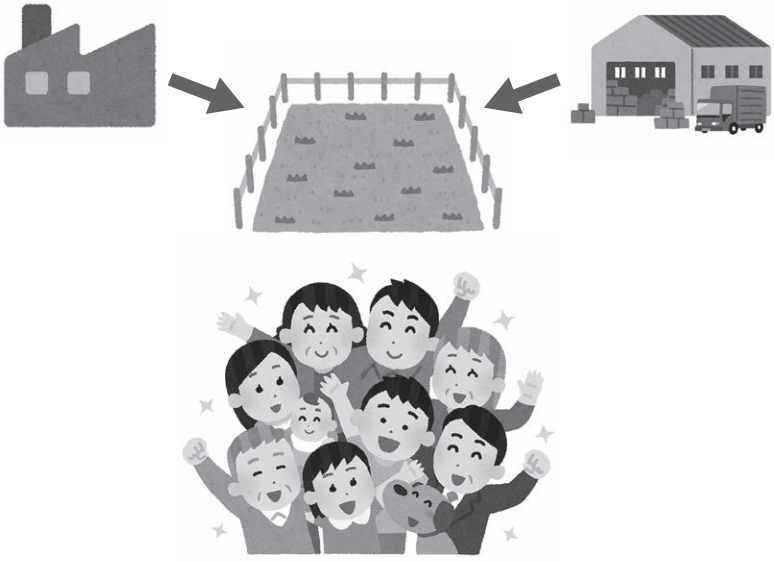
中條建設課長 打開策として、①工業地域等の隣接地域や国見インターチェンジ周辺における地区計画の設定可否、②現行の県開発審査会において許可が可能な開発について、業種や立地などの条件に関する県との協議、を検討したい。

問 自宅近くに職場があることはプラスになる。この点でも企業誘致は必要と考えるが。

大勝産業振興課長 自宅の近くに職場があることは大きなメリットであり、そのような観点からも企業誘致の検討は必要と考える。

問 企業誘致の問題が出ても一向に前進しない。今年度は、具体的にこれだけはやる前進させる等、意気込みも含め決意を伺う。

村上町長 まず、工業地域・準工業地域において利活用されていないと考えられる土地の用途について所有者の意向を確認するとともに、企業の受け入れ可能な用地確保の手法について、県や関係機関から情報収集を行いながら検討を進める。並行して、企業立地セミナーや関連イベントに参加し、進出検討企業の情報収集や最新の産業分野の動向を見極めながら戦略的に当町にマッチした企業誘致を検討する。



町の活性化のために企業誘致を！

町の空き家、空き店舗を活用した「まちの駅」の設置は

まちの駅設置に向けての動きは

問 **当町に「まちの駅」を設置しようとした要因は。**

村上町長 まちの駅を設置することにより、商店街に活気と賑わいを取り戻すことが必要であると考えている。

問 **どのような機能を備えた「まちの駅」を想定しているか。**

大勝産業振興課長 全国事例として「直売店や交流スペース」「子育て支援施設」などがあるとのこと。今後、住民ニーズに合わせて設置や役割の検討を進める必要があると認識している。

問 **「まちの駅」設置に向けて、どのように町民の意見、要望を取り入れていくのか。**

大勝産業振興課長 設置の方針が定まった段階で説明の場を設け、かつ随時町民の意見を反映させることが必要であると考えている。

問 **さまざまな意見を集約して進めるために、「協議会」「設立準備委員会」などを設立することが必要であると考えるが。**

大勝産業振興課長 何らかの協議の場の設置を検討することも事業推進の手段の一つと考えている。商工会と関係機関と連携しながら進めていきたい。

問 **町長の強いリーダーシップが試されることになる。強い意志を町民に示してほしい。**

村上町長 町民の意見を十分に取り入れ、さまざまな手法を検討しながら国見町に合った「まちの駅」を設置したい。

「まちの駅」設置の期待が高まる藤田商店街

当町における「ふるさと納税」の今後の考え方について

問 **当町における「ふるさと納税」の寄付金が増額になった要因は。**

村上総務課長 特産品の桃、町内企業である寝具製品の根強い人気や米不足による需要拡大が影響したと考えられる。

問 **国見町の魅力を発信することで、移住定住の促進につながるための施策を考えているのか。**

佐藤企画調整課長 寄付者に国見町の良さをさらに知ってもらうために、イベント情報やさらなる情報発信を展開していきたい。

村上町長 関係人口・交流人口になっていただいて、さらに町をイメージアップし、移住・定住を見据えていただけるよう、つながりのある取り組みを検討していきたい。

町のふるさと納税返礼品の一部

当町の教育環境と教育方針は

誰一人取り残すことのない教育とは

問 **新教育長として、当町の児童・生徒の教育方針全般について伺う。**

石幡教育長 学校では、性別も個性も成育環境も異なる子供たちが学んでいる。そんな多様な子供たち一人一人を大切に、その子のもつ能力と可能性を最大限に引き出す教育を行いたい。

問 **切れ目のない一貫教育を継続したいと抱負を述べているが、一貫教育とはどのようなものか。**

石幡教育長 保・幼・小・中学校が、各々の教育方針のみで教育活動を進めるのではなく、当町の子供たちをどのように育てたいか、どんな力が必要か、中学校卒業までに目指す子供の姿を設定し、連携し合いながら、個性やニーズ発達段階に応じた支援を切れ目なく提供する教育である。

石幡教育長

くにみ学園構想は白紙とする

問 **くにみ学園構想は凍結しているが、どのような考えを持っているか。**

村上町長 くにみ学園構想は白紙とし、新しい考えのもとでの教育を行う。

問 **くにみ学園構想は白紙とのことだが、町長の公約でもある認定こども園の進め方はどのように行うのか。**

石幡教育長 認定こども園は、質の高い幼児教育と保育を提供することができ、また保護者の送迎負担の軽減にもつながるので、手順を踏んで検討を進めたい。

問 **将来的には児童生徒の減少は避けられないことからも、一体となった教育は必要と思うか。**

石幡教育長 小中学校を一体化した義務教育学校は、今後の児童生徒数の減少を踏まえつつ検討する必要があると認識している。

問 **近年、当町の小中学校の学力低下が懸念されているが、学力向上にどのように取り組むのか。**

石幡教育長 児童生徒の学力向上には、「授業の充実」が大切。教員が話す一斉授業から、教員が「見る」、「聞く」、「つなぐ」授業へと意識を変えるとともに、子供たちが主体的に学び、対話を通して深い理解を得る授業へと変えていくことが必要。

そのためには、教員の働き方改革を推進し、教員がじっくり教材研究をしたり、授業について話し合ったりする時間が持てるようにしていく。

その他の質問
- 小学校低学年の朝の居場所確保について
- スクールバスでの安全送迎について
- デスティネーションキャンペーンを活用した観光について

ふくしまデスティネーションキャンペーンに向け、新たに作成した観光ガイド本

過疎指定の国見町を維持・継続する施策は

人口減少に対する具体策は

佐藤多真恵（さとうたまえ）議員

問 国見町人口ビジョンの予想より、人口は大幅に減少している。
それらを踏まえて町長は近隣自治体との合併を考えるか。

村上町長 合併は考えていない。

問 国見町の人口減少の主な要因は何と思うか。

佐藤企画調整課長 自然減の拡大、合計特殊出生率の低下が影響。

問 人口減少対策の施策とその制定時期は。

佐藤企画調整課長 今までもさまざまな事業を行ってきた。転出入者にアンケート調査を実施し、情報収集と分析を行っている。今年度に、国見町総合計画の中間見直しと次期国見町過疎地域持続的発展計画の策定を行う中で、少子化対策や移住定住対策を示したい。また、専門部会を設け女性比率を高め、地方創生交付金や過疎債などの財源も確保しつつ支援策の拡充を検討していく。

問 人口減少対策で、国見町独自の事業は何か。また、国見町にはない事業は何か。

佐藤企画調整課長 町独自のものは、もちゃ贈呈。ないものは、YouTube活用のタイムリーな情報や魅力の発信に関する取り組みなど。

板橋南子育て住宅

問 今年度の子育て世帯用賃貸住宅建設の事業内容と完成時期は。

中條建設課長 今年度の予算は、基本計画・基本設計のもの。戸数は5戸以上ではあるが詳細を今後検討する。令和8年度に実施設計、令和9年度に工事・竣工予定。

問 移住のための優先順位に町は応えられているか、その施策は何か。また、移住には空き家や住宅地が必要。町は紹介できるのか。

佐藤企画調整課長 子育て世帯の移住検討の優先度には、豊かな自然環境・充実した教育環境が重要視されている。町は子育て世帯への様々な支援策を実施してきた。

国見町内の住宅地

中條建設課長 住宅地については町所有で売却できる物件はない。自ら不動産業者に相談か、インターネットで情報を収集していただくよう案内する。

問 宅地・住宅不足が、国見町に住みたいと思う子育て世帯を取りこぼしている。町長には、今までの経験を活かし県内過疎の自治体と連携し政治的な判断と行動を持って、町発展を促してほしい。どのような考えがあるのか。

村上町長 経験と知識を生かし、女性・若者に選ばれる町を目指す。近隣の市町村・他の自治体と連携を深めながら、町産品のPR・地域ブランドのイメージを向上させるなど地域の活性化を図りたい。

農業ビジネス訓練所を広域連携で運営してはどうか

農業における経営面の教育の充実を

問 農業ビジネス訓練所で稼げる農業を考えたときに、農業技術にとどまらず、農産物の流通、販売までしっかりと教えなければならないのではと考えるが、そういう講座の開講を考えているのか伺う。

大勝産業振興課長 訓練所において、市場への販売、道の駅等の販売など、多少経験することはできるが、農産物を流通させ、販売するということについて、講師の先生等の手配が進めば、今後検討していきたいと考えている。

問 農業ビジネス訓練所卒業生の多くが町内で新規就農していない状況にあるが、その理由を伺う。

大勝産業振興課長 農業ビジネス訓練所は、平成30年に開所し、現在まで長期研修生の受講修了者は19名となっており、うち5名が町内に就農している。町外就農者は、元々町外出身ということで、農地も町外に所有している状況にある。よって町との関わりを継続するために道の駅への農作物の出荷を条件としている。

問 町外への就農者がいる自治体との運営経費も含めた広域連携を進めていくべきと思うが。

大勝産業振興課長 広域的に運営することも一つの手段と考えている。今後この施設を維持していくために何らかの方法が必要であると認識している。

くにみ農業ビジネス訓練所

問 町の企業誘致の窓口はどの部署になるのか伺う。

大勝産業振興課長 企業誘致の所管は産業振興課となるが、都市計画など宅地、工場用地の造成については建設課、企業誘致の支援や起業に関することは産業振興課、企業連携協定等は企画調整課所管となるので、関係課の連携により取り組んでいきたいと考えている。

公営塾「放課後塾ハル」の高校受験への取り組みは

問 私は企業誘致に関して統一的な窓口がないことが、企業誘致が進まない原因の一つではないかと思っている。産業振興課、建設課、企画調整課を横断的に一つに集めて、一つの組織として企業誘致に取り組む専門部署のようなものがあると良いと思うが。

村上町長 今のところ、統一的な窓口の検討はしていないが、今後、業務を進める中で必要があれば検討することとし、まずは今の体制で進めることを考えている。

問 公営塾「放課後塾ハル」については、高校進学に向けて、さらに機能化できるアプローチについて伺う。

小野生涯学習課長 中学3年生の高校入試に向けた公営塾「高校入試対策教室」を実施しており、今年度は、さらに充実させ、元教員による週1回の授業、年8回の新教研もぎテストとその振り返り学習、7月と11月には塾講師による特別講座を実施する。生徒が将来の目標に合った学校を選択、進学できるよう支援していく。

公営塾「高校入試対策教室」の様子

議員活動報告書

令和７年３月議会～６月議会前まで

３月３日～17日	令和７年第２回定例会	議長ほか９名
	総務文教常任委員会	委員長ほか４名
	産業建設常任委員会	産業建設常任委員
３月４日	広報常任委員会	委員長ほか４名
３月５日～14日	議案調査会	全議員
３月13日	県北中学校卒業証書授与式	議長
３月15日	藤田保育所修了証書授与式	議長
３月17日	議会運営委員会	議長ほか10名
	全員協議会	議長ほか10名
３月18日	くにみ幼稚園修了式	議長
３月21日	国見小学校卒業証書授与式	議長
	広報常任委員会	広報常任委員
３月24日	例月出納検査	監査委員
	交通対策協議会	議長
３月26日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査	議長
	伊達地方消防組合議会定例会（伊達市）	組合議員
	伊達郡町村議会議長会正副議長事務局長会議（福島市）	正副議長
３月27日	伊達地方衛生処理組合議会定例会（伊達市）	組合議員
	公立藤田病院組合議会定例会	組合議員
３月31日	職員退職辞令交付式	議長
４月１日	各行政機関辞令交付式	議長
	新規採用職員辞令交付式	議長
４月３日	広報常任委員会	広報常任委員
	全員協議会	議長ほか10名
４月５日	藤田保育所入所式	議長
４月７日	国見小学校入学式	議長
	議会モニター会議	副議長ほか９名
	全員協議会	議長ほか10名
	県北中学校入学式	議長
４月８日	くにみ幼稚園入園式	議長
４月９日	町内会長会議	議長
	広報常任委員会	広報常任委員長、副委員長
４月12日	町体育協会総会	議長
４月19日	議会報告懇談会①	議長ほか10名
４月20日	議会報告懇談会②	議長ほか10名
４月21日	議員懇談会	議長ほか10名
４月23日	伊達郡町村議会議長会（福島市）	正副議長
	伊達郡振興懇談会（福島市）	正副議長
４月25日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査（福島市）	議長
	例月出納検査	監査委員
	寿クラブ連合会総会	議長
４月26日	郷土史研究会総会	議長
４月30日	健康推進員協議会総会	議長
５月１日	産業建設常任委員会	産業建設常任委員
５月３日	春の藤原まつり（岩手県平泉町）	議長
５月10日	町駅伝部総会	議長
５月12日	伊達地方衛生処理組合議会臨時会（伊達市）	組合議員
５月16日	全員協議会	議長ほか10名
	伊達郡町村議会議長会（福島市）	正副議長
５月17日	文化団体連絡協議会総会	議長
５月20日	福島地方土地開発公社評議委員会	議長ほか６名
	議会改革推進会議	議長ほか10名
	議員懇談会	議長ほか10名
	全員協議会	議長ほか10名
	国見町商工会第65回通常総会	議長
５月22日	福島地方水道用水供給企業団臨時会	議長
	新人議員研修会	議長
５月25日	国見町シルバー人材センター定時総会	議長
５月26日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査	議長
	例月出納検査	監査委員
５月27日	全国町村議会議長・副議長研修会（東京都千代田区）	議長
５月28日	総合計画審議会	産業建設常任委員長ほか１名
	青少年育成町民会議	議長
５月29日～30日	総務文教・産業建設合同常任委員会行政視察（新潟県糸魚川市）	議長ほか９名
５月29日	空家等対策協議会	産業建設副常任委員長
６月４日	伊達地方衛生処理組合議会臨時会（伊達市）	組合議員
６月５日	議会運営委員会	議長ほか10名
	全員協議会	議長ほか10名
	県町村議会議長会定期総会（福島市）	議長

菊地勝芳議員逝去のお知らせ

国見町議会議員の菊地勝芳氏（享年76歳）が令和７年６月14日にご逝去されました。

ここに哀悼の意を示すとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和７年 第１回議会報告懇談会

町民のみなさまと意見交換

４月19日（土）と20日（日）、観月台文化センター大研修室で、議会報告懇談会を開催しました。議会側から３月定例会（当初予算等）および常任委員会活動について報告の後、議会や町に関する意見交換を行いました。その中で、議会に出された意見・要望についてお知らせします。

Q1 **救急車問題はどうなったのか、百条委員会、第三者委員会はどうなったのか、前町長の引地さんはどんな考えなのか、わかれば教えてほしい。**

A1 百条委員会は令和６年７月10日臨時議会の調査報告で区切りをつけている。第三者委員会も報告書を出し終了した。なお、今後新たに問題が出てきた場合は、新たに委員会を作ることになる。
いろいろと浮き彫りになり、百条委員会、さらには第三者委員会からも公正・公平さに欠けていたと判断された。内閣府からも不適切だと指摘され、引地さんは町長選を終えて過去の人になった。これからは新町長のもとで信頼を回復するよう前に進んでいく。

Q2 **議員の常任委員会の説明、活動の中身を調べようとホームページを見るが、2022年までででそれ以降の細かい中身を見るにはどうすればいいのか。**
12月および３月議会傍聴時のアンケートへの回答はどのようになっているのか。2021年までしかわからない。それらを見たい。

A2 現在までの内容は事務局がアップする。今後は、定期的に確認し改善する。
また、本会議のアーカイブがYouTubeで見られるようになったが、再生回数が100回くらいである。今回発行する議会だよりでは、一般質問を議員ごとに見ることができるように改善した。

Q3 **議員の定員減らしはどうするのか。町民が8,000人しかいない。**

A3 令和３年より議会改革に取り組んでいたが、諸般の事情により中断していた。今年より再開している。議員数は町民1,000人に１人といわれているが、常任委員会の定数は６人から７・８人が通常であり、近隣の桑折町も川俣町も同数。このことは議会モニター会議でも指摘があった。今いろいろと検討しているところである。

Q4 **議会改革は、学識経験者をメンバーに含めて検討してほしい。**

A4 これから町民アンケートを予定している。対象者は無作為抽出で決める。色々な方法を含めて考えていく。

Q5 **議員報告会の資料のレジュメが同じものがあって印刷の無駄だと思う。**

A5 印刷が白黒でわかりにくいが、目次に色がついていてモニターと同じにしているため同じものが何枚もあるようになってしまった。今後は改善する。

Q6 **報告資料のP34の広報常任委員会の視察研修について詳しくのせたほうが良い。**

A6 研修の内容については、４月25日発行の議会だよりに載せたので読んでほしい。

Q7 **議員報告会に初めて参加した。本日の参加者は、男性３名女性１名の合計４名。町政に関心がないようだが、改善されないのか。**

A7 いろいろと検討し、方部ごと、日中と夕方など、試行錯誤したがあまり変わらなかった。

町に対する意見・要望は
執行部へ提出し、回答いただき
後日報告いたします。

総務文教常任委員会

■令和7年1月6日
○福祉課所管事務調査
令和7年4月より施行される「第3期国見町子ども・子育て支援事業計画」素案について説明を受け、質疑応答を行いました。

■令和7年2月21日
○総務課所管事務調査
町が策定を進めている「国見町内部統制に関する方針」および「国見町職員コンプライアンス推進指針」の概要について説明があり、質疑応答が行われました。

■令和7年3月3日
陳情2件について審査を行い、いずれも〈継続審査〉としました。なお、この2件について、6月12日の常任委員会で再審査を行いました。（結果は後述）
・陳情第1号　国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出について
・陳情第2号　国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての陳情
・陳情第4号「消費税5％への減税を求める意見書」の提出について　**〈不採択〉**

〈再審査分〉
・陳情第1号　国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出について　**〈採択〉**
・陳情第2号　国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての陳情　**〈採択〉**

産業建設常任委員会

■令和7年3月3日
「閉会中の所管事務調査」の実施について協議し、実施することに決定しました。

■令和7年3月12日
○建設課所管事務調査
町で策定作業中である「国見町立地適正化計画」の概要について説明を受け、質疑応答を行いました。

■令和7年5月1日
○産業振興課所管事務調査
藤田商店街の空き店舗状況に関する調査結果について説明を受け、質疑応答を行いました。また、委員会の視察研修については、総務文教常任委員会に対し合同で行う旨申し入れを行うことを確認しました。

■令和7年6月12日
陳情1件について審査を行いました。結果は以下のとおりです。
・陳情第5号「インボイス制度廃止を求める意見書」の提出について　**〈不採択〉**

総務文教・産業建設合同常任委員会行政視察

令和7年5月29日～30日の2日間、新潟県糸魚川市を視察しました。

糸魚川市は、平成28年に発生した「糸魚川市駅北大火」を教訓とした消防・防災対策や、復興のまちづくりを進めております。

「糸魚川市駅北大火」は、警報級の強風により延焼拡大が早く、住宅が密集し道幅が狭く、消火活動に支障が出たことなどがあげられます。そのため、道路の拡幅や不燃住宅建築の取り組み、復興に向けたまちづくり計画の策定など、災害時の役割分担と情報共有や避難所運営体制づくりなど様々な施策に取り組んでおります。座学後には、駅北地区の街並みを見学し、その成果を体感しました。

人口減少対策については、当町と同じ課題を抱え、Uターンによる地場産業の担い手確保や、医療・介護の人材育成、若者の出会いや結婚支援、安心して産み育てられる環境の整備などに取り組んでいます。今後も他自治体の先進事例を勉強し、国見町の持続的発展に尽くします。

（報告者　小林聖治）

駅北大火後設置された女性や高齢者でも使える消火ホースについて説明を受ける様子

私たちの町内会

第２回　泉田上町内会

「早苗ぶり会」

泉田上町内会では、毎年7月の第1日曜日に早苗ぶり会を開催しています。平成11年から現在まで26年続いています。早苗ぶりには、田の神様に感謝し、豊作を祈願する意味合いがあると思います。

5月になると田植えが始まり、朝早くから苗を準備し、近所の人などみんなで協力して田植えをしました。早苗ぶり会は、田植えを手伝ってくれた人々をねぎらう宴会として行われ、その名残として現在まで続いています。

泉田上町内会は小規模で高齢化が進んでいますが、会員が一堂に会する機会を多くし、若い人も参加してもらい、少しでも地区を活性化したいです。

秋には収穫感謝祭を開催し、収穫した農作物を持ち寄り、収穫に感謝祈願し会員の親睦を深めます。

昔ながらの行事が少ない昨今、今まで継承してきた諸先輩に感謝し、今後の町内会活動に活かしていきたいと思います。

早苗ぶり会での豊作祈願のための供物

泉田上町内会長
安孫子　孝由さん

広報常任委員会メンバーが新しくなりました

委　員
斎藤　樹

委　員
八巻喜治郎

委　員
渡辺　勝弘

委　員
山崎　健吉

副委員長
小林　聖治

委員長
蒲倉　孝

編集後記

国見町議会は新たな組織構成となり、上記の通り広報常任委員会も新メンバーでスタートしました。

今後も、議会広報誌の編集のため、研修会の参加や行政視察等を行い、町民の皆さまに「手に取って・見て・読んでいただけるよう」努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

（蒲倉　孝）

くにみ議会だより

発　行／福島県国見町議会
〒969-1792
福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二１番７
TEL.024（585）3295　FAX.024（585）2181
https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/
編　集／議会広報常任委員会
発行日／令和７年（2025年）７月25日
発行責任者／議長　佐藤　定男